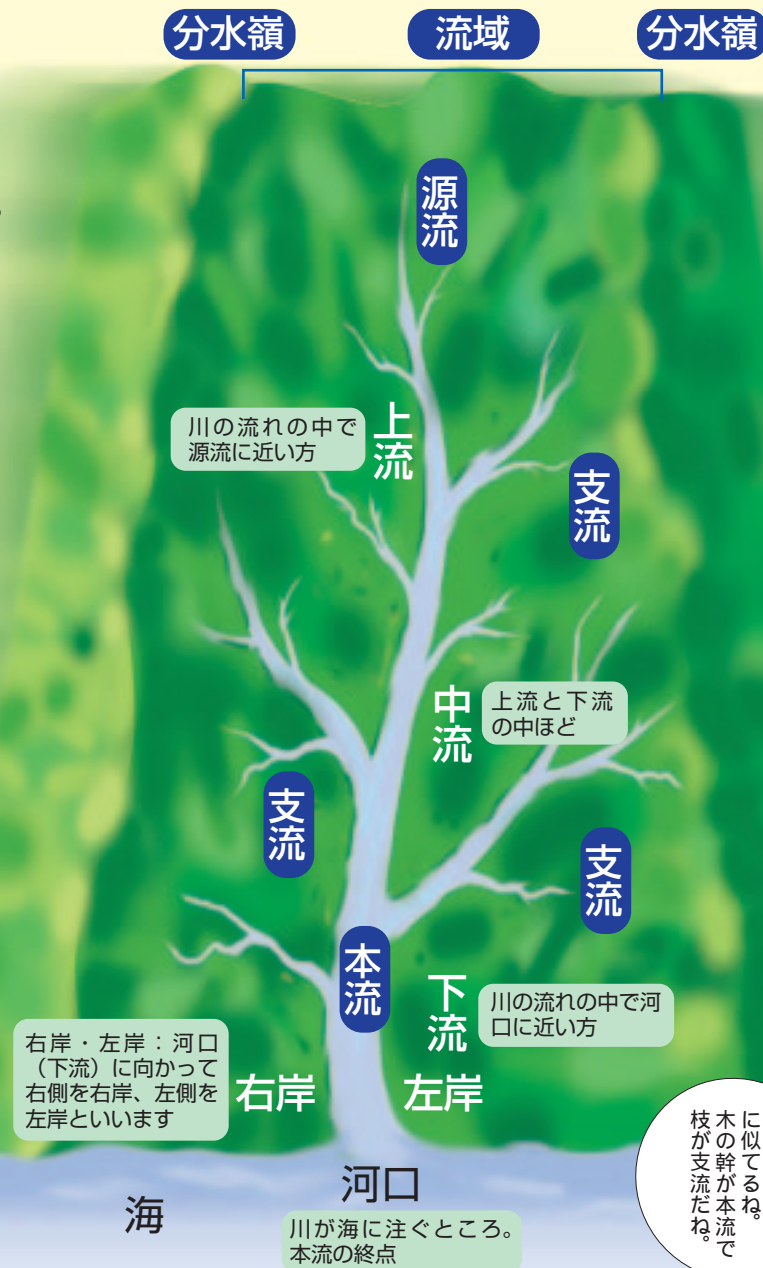
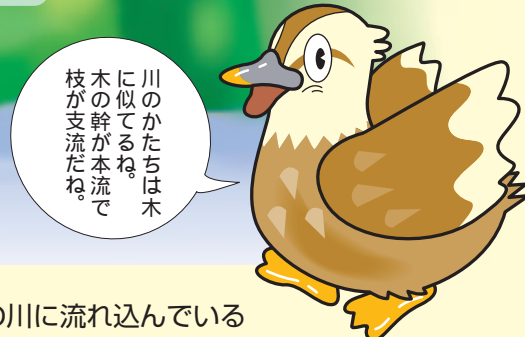


川の話



これまで柏尾川をはじめ流域のいろいろな川を見
てきました。また、川と人とのかわりという視
点から戸塚と川の歴史も振り返ってみました。
これから少し「川」のことをお話しします。
まずは、「川」のことを話すときに使われている言
葉から見てみましょう。



- 流域** 降った雨や雪解け水などが地面の上や中を^ど通って、その川に流れ込んでいる地域をいいます。例えていえば「川のなわばり」
- 水系** 同じ流域内にある本流、支流などとこれらに関する湖や沼をまとめて水系といいます。
- 分水嶺** 二つ以上の流域を分ける山脈
- 源流** 山や森などで水が流れ川のはじまる^ところ、水の流れるみなもとをいいます。
- 本流** 川の本筋の流れ。最も長い川のことを呼ぶことが多い。
- 支流** 本流に注ぎ込む流れ。枝川

堤防にはさまれた川の敷地全体を河川区域といいます。その中で普段水が流れている部分を低水路、増水したときに水に浸かる部分を^{こうずいじき}高水敷といいます。



水の旅

さて、川のかたちや言葉の頭に入れたところで、川はどうやってできているのか、水はどこからやってくるのか？
そもそも、川ってなんなの？
わたしたちとどう関係があるのか、を考えてみましょう。



水はかわらないの？

昔から、わたしたちは川とうまく付き合い、その恩恵をうけてきました。いつまでもそうありたいと願っています。でも川がなくなったり、水がなくなってしまうことはないのでしょうか。

川の水は、地下水や雨によってできています。地下水をくみ上げすぎたり、異常気象によって全く雨が降らなくなったりしてしまわない限り、川がかわってしまうことはまずないでしょう。

水は温度によって、氷・水・水蒸気と3つの姿を持っています。太陽の熱により暖められた地球上の水は、水蒸気になり上空へ上ります。やがて冷やされて雲となり、雨となって地上に帰ってきます。これを「水循環」と呼んでいます。この水循環が続く限りは、水がなくなることはないでしょう。

暖められた水は蒸発し、水蒸気や霧となって上にあがってゆくよ

雲
空中にある水蒸気が冷やされると、雲になるんだね。

霧がさらに冷やされると雨や雪になる。

ダム

森林

湖

地下水

地下水

水田

家庭

下水処理場

浄水場

工場

湧き水

川の水は田んぼの水に使われる

森林は雨を吸収し、水をきれいにする

ふった雨は地面にしみ込み時間をかけて、地下水や湧き水になる

川を流れた水は海にたどりつきます。土の中に含まれている栄養分を海や湖に運んでいます。当然、川自身にもいろんな生物がすんでいます。

川の水は、私たちの暮らしの中をとおし、また、川にもどる

？1 浄水場や下水処理場ってなに？

ヒント 浄水場は私たちが安全で安心して水が使えるようにしてくれています。下水処理場は、汚れた水をきれいにして川や海にもどしています。くわしく知りたい人はホームページを見てね。
<http://www.city.yokohama.jp/front/sub/kids.html>



小雀浄水場

？2 川はどのように利用されているんだろう？

ヒント 川は飲み水になり、子どもたちの遊び場にもなり、農業、工業、舟運の発展に欠かせない存在でした。この他にどんなことに利用されているか考えてみましょう。



農業用水

■川の利用

人は昔から川の近くに住み、川からたくさんの恵みを受けてきました。まずは、飲み水。また、そこにすむ魚は人間の栄養源でもありました。時代が進んでくると、農業用水や交通の手段としても利用されます。今は、その他にどのような利用がされているか考えてみましょう。



みんなの暮らしを守っているんだね！

1 遊水地って何のためにあるの？

大雨の日の川は、短い時間にすごい量の雨水が集まるため、下流ほど洪水の危険性が増していきます。そこで、川の水量が増えて洪水が起こることを防ぐため、川の中流部などに水を貯える場所があります。これを遊水地といい、川の水量が減ってから徐々に流れていきます。

●ふだんは別の使い方もできます。

遊水地は、大雨が降ったときにその威力を発揮しますが、ふだんはテニスコートなどに使われている例もあります。ただし、雨水を貯えるのが目的ですので、雨が降ってきたら、すみやかに遊水地から離れてください。



名瀬川遊水地

2 遊水池というのがあります。

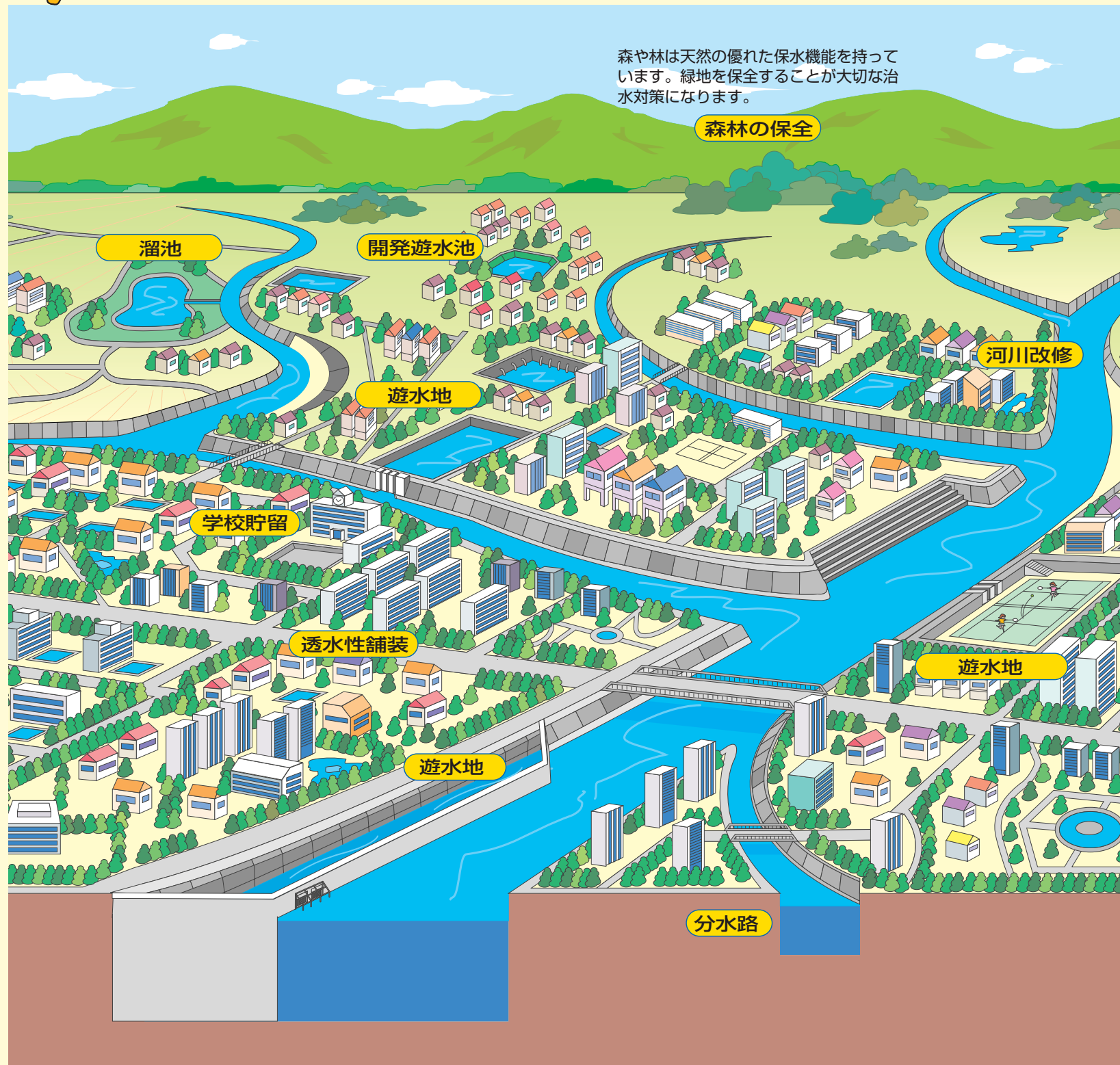
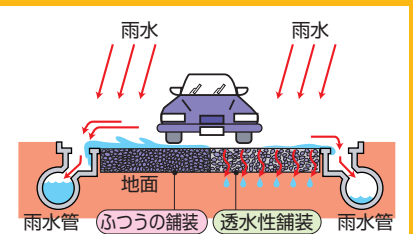
遊水地は、川の水を取り込みますが、似たようなものに「遊水池」というのがあります。住宅地の開発などにより森や林を切り開くと、一度に川に流れ出す雨水が多くなります。そこで開発地に降った雨水を一旦貯めて、洪水をおさえることを目的に遊水池が設けられています。遊水池に比べ小規模で、地下に造られることもあります。



舞岡リサーチパーク

3 雨水を地面にしみこませることも大切です。

地面に吸収される雨水を増やして洪水をおさえる方法として、屋根に降った雨を庭にしみこませる「浸透ます」や、道路の舗装に隙間をあげ地面に雨を通す「透水性舗装」などがあります。この方法は、ふだんの川の水量確保や都市の地面の乾燥化を防ぐことにも役立ちます。



森や林は天然の優れた保水機能を持っています。緑地を保全することが大切な治水対策になります。

●森林の保全

●学校貯留

●透水性舗装

●分水路

●河川改修

洪水による氾らんを防ぐため、堤防を作ったり、川床を掘ったり、川幅を広げたりして整備をします。

●学校貯留

学校の敷地を利用して、降った雨を一時貯留します。

●分水路

水の流れを分ける路(川)です。別の川を作って、洪水を防ぐしくみです。

洪水を防ぐ

川との共存

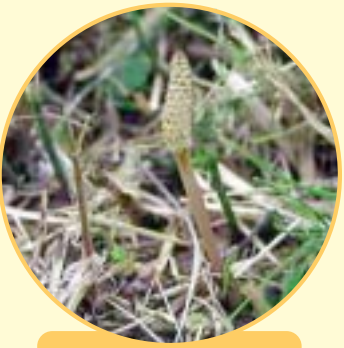
私たちの生活にとってなくてはならない大切な川しかし、時として川は私たちに襲いかかってくる必要があります。大雨が降ると水があふれ、瞬間にまちを飲み込んでしまうこともあります。洪水です。必要だからこそ、川とうまく付き合っていく、そのしくみには様々なものがあります。

ワー！洪水だ！



生き物を観察しよう！

柏尾川流域には様々な生き物が生息していますが、いつでもどこでも見られるというわけではありません。地域や季節によって、見ることでできる生き物は異なります。このカレンダーを参考に、足を運んでみませんか？そして、あなただけのオリジナルカレンダーを作ってみましょう。



スギナ
①花は咲かない②3~4月
「ツクシだれの子スギナの子」と言われるが、ツクシはスギナの茎。スギナの生えている場所を覚えておけば、簡単にツクシを探すことができる。



ハコベ
①白②3~9月
世界中に広く分布する雑草で白く可憐な花を咲かせる。ほんのわずかな空間でも、短期間に発芽し、成長して開花する。



カラスノエンドウ
①赤紫②3~6月
明るい道ばたなどどこにでも生えており、特に春、中流域の河原で見られる。この豆の殻で笛を作って遊ぶことができる。



モンキチョウ
①3-11月②22-33
原っぱ、河原など開けた場所に広く生息し、地表近くを活発に飛び、いろいろな花で吸蜜する。幼虫はアカツメクサ、シロツメクサなどを食べる。



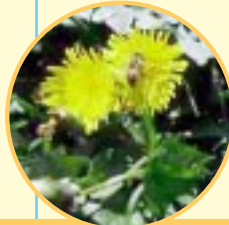
オイカワ
①8~16
北海道を除く日本各地の河川の中・下流に広く住んでいる。銀白色の体の側面に赤みを帯びた横斑がある。



ミシシッピーアカミミガメ
①12~20
ペットショップ等で見るミドリガメ。魚から昆虫・水草まで何でも食べる。屋間は川や池の石などの上でじっとしている。



ナナホシテントウ
①3-11月②8
7つの黒紋をもつ、おなじみの虫。成虫で越冬し、春早くから活動する。イメージとは違い肉食性で、植物に付くアブラムシを食べる。



セイヨウタンポポ
①黄②3~11月
名前のとおり外国から来たタンポポで、在来種を追いやっている。都会の空き地などに多く見られる。欧米では葉を食用しているらしい。



モツゴ
①6~10
頭がとがり口が小さく上を向いているためクチボソとも呼ばれる。銀白色の体の側面の中央に黒い縦帯がある。



ダイサギ
①夏②80-105
関東から九州で繁殖し、冬は南へ移動。くちばしは夏が黒、冬は黄色くなる。長い脚を持ち、魚などを食べる

魚を探そう

【魚類写真の番号は①大きさ(cm)を表しています。】

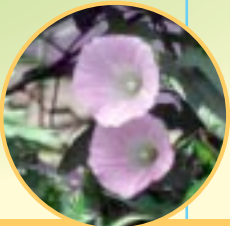
水域全体にわたって広く生息している魚もいますが、川の形態、水質や水域により、生息している魚の顔ぶれが違います。水のきれいな源流や上流域（柏尾川支流）にはオイカワ、モツゴのほかドジョウ、コイ、フナ類などの魚が見られます。中流・下流域（柏尾川本流）では、コイ、ナマズ、フナ類などとともに海から上がってきたボラ（3~11月）が見られます。冬の間は水温が下がるため、小さい魚たちは深い場所や水草の陰に移動するため探すのが難しくなります。

6

5

4

3



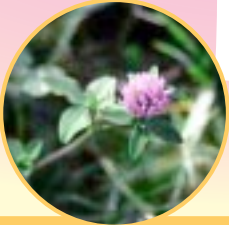
コヒルガオ
①ピンク②6~8月
日本在来の雑草で、乾燥や日差しに強い花。アサガオは夜明けに開花し午前中にしぼむが、ヒルガオは太陽が高くなると開花し夏の炎天下でもしおれない。



チュチュビチュビジクビー。ツビツ
ツバメ
①夏②17
燕尾服姿で空を舞うおなじみの鳥。額とのどが赤褐色。入通りの多い場所に好んで営巣する。



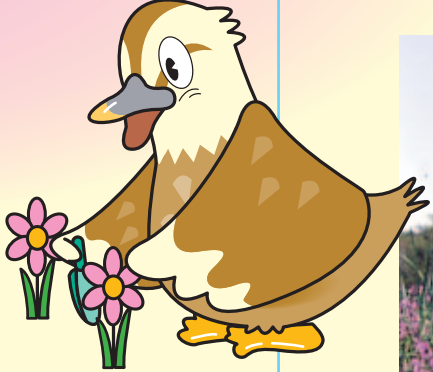
ハルジオン
①白②5~7月
北アメリカ原産で大正時代に日本にきた植物。先に来たヒメジョオンをすっかり追い出してしまった。都会の春を彩る雑草の王者。



アカツメクサ
①赤紫②5~8月
ヨーロッパから牧草として入ってきて野生化した植物の一つ。花の冠などを作って遊ぶシロツメクサは仲間。



オオイヌノフグリ
①青②3~5月
明治時代に渡って来て野生化した植物。畑の縁などでよく見かけられる。青い小さな花が群生している様子は春の訪れを感じさせる。



チー。チーチュルピーチ



植物を楽しもう

【植物写真の番号は①花の色②花期を表しています。】
春になると様々な植物が芽を出し、色とりどりの花を咲かせます。散歩をしながら野に咲く花を目や鼻で楽しみましょう。どこにでもある雑草にも名前があります。名前やその香り・性質を調べてみましょう。植物は、花だけでなく実や葉・茎も楽しむことができます。「ひっつき虫」と呼ばれる実や「ねこじゃらし」などで遊んだことのある人もいましょう。花などの汁を使った色水遊びや草木染なども楽しみ方の一つです。また、葉や実などが食べられるものもあり、味わう楽しみもあります。でも、中には毒のあるものがありますので、むやみに口には入れないで下さいね。

一年中見られる鳥

チューン。キリリコロコロ、ジュイーン



カワラヒワ
①一年中②15
キリリコロコロと鳴きながら飛びオリーパ色の鳥。草の実などを食べ、夏にヒマワリの種をついばむ姿が見られる。

グルル、グルル、グワツ、グワツ、



カワウ
①一年中②80-100
全身光沢のある黒い姿。水中で魚を捕らえ、水面に出てからのみ込む。くちばしが鉤状に曲がっている。

ゴィ、クァークァツ

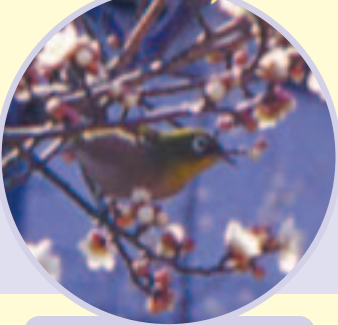


アオサギ
①一年中②80-90
灰青色の体に黄色いくちばしと足を持つサギ。北海道から四国で繁殖。川や水田などに住む

ピーピー、ピーヨ



ヒヨドリ
①一年中②28
全身が灰色で頬が茶褐色。花蜜や木の実を好んで食べる。林や人家付近の公園や街路樹で見られる。



メジロ
①一年中②12
ウグイス色の背に白い目の回り。街中の街路樹や、庭先で桜や椿の花、柿の実をつつく姿が見られる。

昆虫を探そう

[昆虫写真の番号は①見られる時期
②大きさ(mm)を表しています。]

公園や原っぱなどの身近なところで、私たちはたくさん
さんの昆虫に会うことができます。

昆虫の楽しみ方には、採集や観察があります。網と
足で追うのもよし、虫たちの形態や行動を目やカメラ
・ビデオで追うのも楽しいものです。

昆虫の暮らしや行動には一定の決まりがあり、採集や
観察するときには場所や季節・時間などのポイントが
あります。また、たいていの昆虫は、特定の植物と深い
関係を持って暮らしています。昆虫を見つけるには、
関係の深い植物を探すのが近道かもしれません。

昆虫はむやみに取るのではなく、適度に遊んだら放
してあげましょう。



ミゾソバ
①白②7~10月
溝や川岸の泥に生え、日本中で見られる。白から薄いピンク色の小さな花が塊になって、群れて咲く様子には趣がある。



エンマコオロギ
①8-11月②20-25
日本産のコオロギの仲間では最大。人家周辺でもよく見られる。オスは羽に複雑な筋があり、この羽をこすって、美しい音を出す。



アブラゼミ
①7-9月②53-60
茶色いまだら模様のはねを持ったおなじみのゼミ。真夏、電信柱や家の外壁などいたるところで、ジージーと音が煮えたるように鳴く。



クズ
①紫②7~9月
20m以上になるつる草で、強い伸張力で木にはい登る。根はでんぷんを多く蓄えており、葛粉として食用になる。秋の七草の一つ。



コイ
①40~60
寿命は15~20年。体長60cmほどになる。流れが緩やかで、底が泥でややこった水を好む。貝類や幼虫、水草から小魚まで何でも食べる。



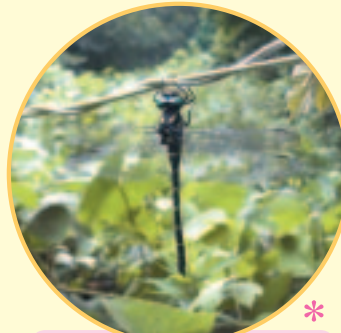
アメリカセンダングサ
①黄②9~10月
北アメリカ原産の一年草の帰化植物。湿った荒地や道ばた、水路などに強い繁殖力で急速に広がっている。別名セイタカウコギ



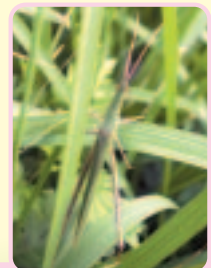
ヨウシュヤマゴボウ
①白②6~9月
路傍や空地に単独で生え、黒く熟した実は、鳥によって運ばれる。熟した実は色水遊びなどの絶好の材料になるが、毒があるので気を付けて。



ホトケドジョウ
①6~8
日本固有種で絶滅危惧種となっている。細長い円筒形の体に8本のひげがある。茶褐色・赤褐色の体に黒点が散在。谷戸の川に生息。



オニヤンマ
①6-9月②59-76
グリーンのお目、黄色と黒色のしま模様を持つ、日本最大のトンボ。幼虫から成虫になるまで2~3年かかる。道や池・川の上をゆうゆうと飛ぶ。



ショウリョウバッタ
①8-11月②40-80
頭部が尖ったバッタ。メスは8cm位、オスは4~5cm程。明るい原っぱや住宅地周辺に生息。オスは、飛ぶときにチキチキという音をたてる。

10

9

8

7



アキアカネ
①6-11月②21-29
アカトンボの代表種。平地や丘陵地の池、川などで広く発生。6月頃に羽化し、夏の間は高い山で避暑し、秋が近づくと里に降りてくる。



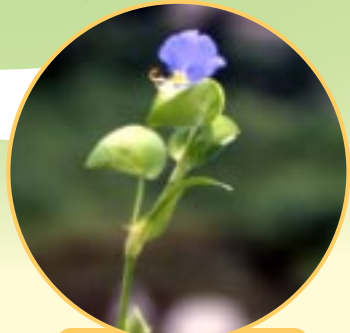
センニンソウ
①白②8~9月
テッセンなどと同じクレマチスの仲間。低木からみつけて白い花を咲かせる。種子には羽毛があり風によって飛ぶ。



アレチウリ
①緑②8~9月
北アメリカ原産で戦後日本に入ってきた。最近、河原で異常に繁殖しており、どこでもやっかいもの扱いされている。



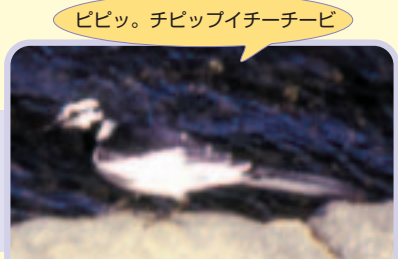
オオカマキリ
①8-10月②68-95
緑色または茶色の大きなカマキリ。林縁の草むらや樹上で見られ、開けた原っぱには少ない。あらゆる昆虫を強力な鎌足で捕らえて食べる。



ツクサ
①青②6~9月
東アジアに固有の雑草で、朝露にぬれた花の姿からついた名前が露草。適度に湿った道ばたでよく見られる。



ハシブトカラス
①一年中②57
全国各地でも見ることができる。雑食性で主に地上で採食。市街地でゴミをあさる姿がよく見られる。



ハクセキレイ
①一年中②21
水辺近くの農地や市街地に住む。尾を上下に振りながら歩く。



セグロセキレイ
①一年中②21
川の中流域に好んで住み、一年を通じてつがいや縄張りを持つ。縄張り意識が非常に強い。



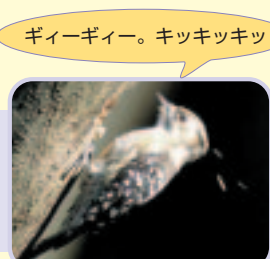
スズメ
①一年中②15
人の住んでいるところならどこにでもいる。繁殖期にはつがいや縄張りを持つ。秋冬は群れで生活する。



シジュウカラ
①一年中②15
頭が黒く頬は白い。胸にネクタイのように黒い帯がある。他の鳥が蓄えた餌を横取りしたりする。



コサギ
①一年中②55-65
日本のシラサギ類で最小。足が黒、足指は黄色。魚やカエルなどを食べる。



コゲラ
①一年中②15
横並びの白い斑点が背中にある。樹木が多く太い木がある公園などで、樹皮をつつきながら昆虫をさがす。



鳥に親しもう

【鳥類写真の番号は①見られる季節
②大きさ(mm)を表しています。】

川の近くは、鳥の種類が多く見通しよいため、最も鳥を見つけやすい場所です。水面や水際で、えさを取ったり水浴びをする姿が見られます。

公園や神社、庭など家の周りにも鳥はいます。声のする方向にある木の梢や電線・屋根の上などで野鳥を見つけることができます。

野鳥を見るときに最も大切なことは、野鳥の生活を脅かさないことです。そのためにも野鳥が安心して生活できる距離から観察しましょう。目立つ服装や動き、大きな声や音を立てると鳥は逃げてしまいます。

姿形は見えずとも、鳴き声も楽しみの一つです。鳥の鳴き声は様々で、ふと耳にした鳴き声をたよりに鳥の姿を探すこともできます。野鳥の声のCDやホームページなどを参考に聞き分けてみましょう。

キューイ、ギーツ



ユリカモメ

①夏以外②37-43
くちばしと足が赤い小型のカモメ。ダイビングしたり水面付近を飛びながら獲物をとる。

ビリッビリッ。(オス)
クエークエク。(メス)



コガモ

①冬②34-38
栗色の頭部。目の周囲から後ろが暗緑色。アシなどが生える岸辺にいる。

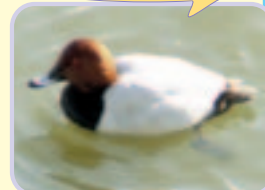
ヒッヒッヒ。クワックワック



ジョウビタキ

①冬②14
冬に庭先に来る黒とオレンジ色の鳥。灰白色の頭が特徴。おじぎをするようにくさで縄張りを宣言する。

キュウ(冬はほとんど鳴かない)



ホシハジロ

①冬②42-49
茶色い頭に赤い目、灰白色の胴体。水中にもぐって水草や種子を食べる。



ミスジマイマイ

①一年中②30-40
カタツムリは陸に住む巻貝の仲間。移動能力が少ないため地域ごとに独自の变化をする。梅雨時は活発に活動するが、冬は冬眠する。



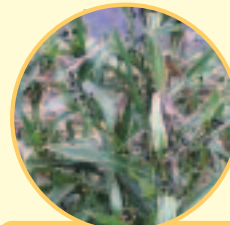
アゲハチョウ

①3-11月②35-60
都会から山地まで、様々な環境で見ることができる。緑の少ない街中でも、ミカンの鉢植えがあれば、どこからか飛んできて卵を産んでいく。



クコ

①紫②8-10月
中国では古くから漢方薬として用いられている。夏から秋にかけてナスに似た小さな花を咲かせ、秋が深まると赤い小さな実を付ける。



ジュズダマ

①茶②8~10月
水辺や河原などに生える熱帯アジア原産の多年草。黒い実は、ほととぎすの代用にしたり、ネックレスやお手玉などにして遊ぶことができる。



ススキ

①茶②8~10月
秋の草原一面に銀の穂波をなびかせるススキの姿は美しい。銀色の綿毛は種子が運ばれるときのパラシュートの役を果たしている。

2

1

12

11



フキ

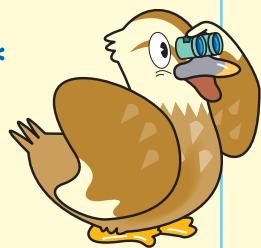
①白②1-5月
春の訪れを告げる「フキノトウ」。黄色い花芽や伸びた茎は食べられる。キク科にはめずらしく雌雄が別株になっている。

ビュルビュル、クワックワック



オナガガモ

①冬②61-76(オス)51-57(メス)
本州から九州で越冬。夜間に水田や湿地で昆虫や水草などを食べる。



チチチ、ピーピー、ツイーツイー



ビンズイ

①冬②15
秋に北海道などから飛来し越冬するオリーブ色の鳥。昆虫やクモ類を食べる。

チーリーリーリー、ツーチーチャー



イソシギ

①冬②19-21
北海道から九州で繁殖。川や湖沼に住む。長めの真直ぐなくちばしをはしのように使って昆虫を採食する。

グー、グー、グーイー、グググ



マガモ

①冬②60
冬に飛来。昼は水面で休み、夜間に湿地や水田で採食する。オスは緑色の頭と黄色いくちばしが特徴。



カラスウリ

①白②8~9月
白いレースのような花は、暗くなってから咲き朝にはしぼむため見ることは難しい。秋にはオレンジの実がなり、目を楽ませてくれる。

チチン、チチン。チチチッ、チチチッ



キセキレイ

①一年中②20
低い山から高山までの水辺に好んで住む。背と尾は黒・腹が黄色。昆虫を食べる。

チーッ、ツッチー、ツー



カワセミ

①一年中②17
コバルトの背、頭や翼に光沢のある緑、胸から下がオレンジの美しい姿。水面に出た枝や岩に止まって水中の獲物をねらう。

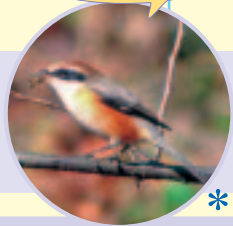
グーグーグー、グエ



カルガモ

①一年中②58-63
ほかのカモと違い雌雄同色。川や湖沼などに住む最も身近なカモ。水草や昆虫などを食べる。

キーキチキチ



モズ

①一年中②20
秋冬は1羽ずつ縄張りを持ち、目立つ場所から高鳴きして縄張りを宣言する。獲物を木の枝やとげに刺す習性「はやくにえ」を持つ。

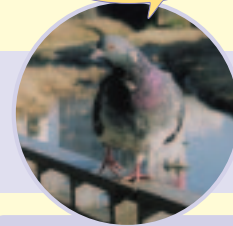
キュルキュル、ジャー



ムクドリ

①一年中②24
赤褐色の頬。市街地でも普通に見られ、芝生や畑を歩いて昆虫や木の実を食べたり樹上で柿の実を食べたりする。

クルックルッ



ドバト

①一年中②33
ユーラシア大陸に生息するカワラバトからペットとして作られた。市街地に定着し人を恐れない。

川の自然を楽しむには

野に咲く花は個人のものではなくみんなのものです。

きれいだからといって、むやみに折ったり、根こそぎ持って帰ったりするのはやめましょう。来年も花を楽しめるように。



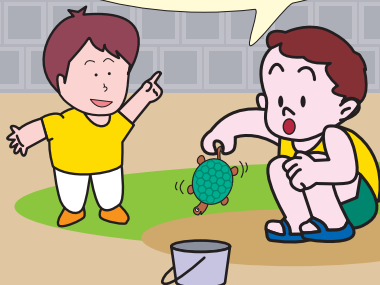
切れた釣り糸は必ず持ち帰りましょう。

糸が首にからみついたり、針を飲み込んだりして鳥たちが死ぬ原因になっています。



川に飼育した動植物(カメや魚など)を捨てるのはやめましょう。

生きものを川に放したり、コイなどにむやみに餌をやることは、生きもののバランスをくずす大きな原因の一つです。

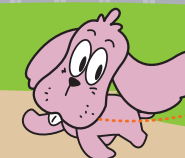


自転車はマナーを守って通らしましょう!

柏尾川プロムナードには自転車道があります。歩道と一緒にいるところでは、スピードを控え、歩行者の安全を図って通行してください。



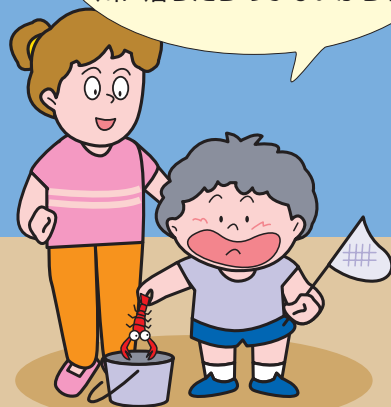
犬の散歩のフンの後始末も忘れずに!



ルールを守って楽しくネ!

川に遊びに行く時は、大人の人といっしょにゆこう!

途中できもちが悪くなったり、川に落ちたらあぶないからね。



食べたり飲んだりした後のごみを持ち帰ろう!

ごみが散らかって川に流されたり、カラスが集まってくることを防ぐことができます。



河原で騒いだり、大きな音を立てるのはみんなの迷惑だよ。



花火の後片づけも忘れずに!

川では、小魚が藻や小さな虫などを食べ、鳥が小魚を食べるように、多くの動植物がお互いに関係しあっています。その営みをみんなですり、今よりももっと豊かな自然が取り戻せると思います。

雨が降ってきたら、早めに離れよう!

柏尾川のような都市を流れる川は、雨が降って水かさが増えると、あっという間に高水敷が水をかぶるようになります。降り出したら安全なうちにその場を離れましょう。

ふだんの時

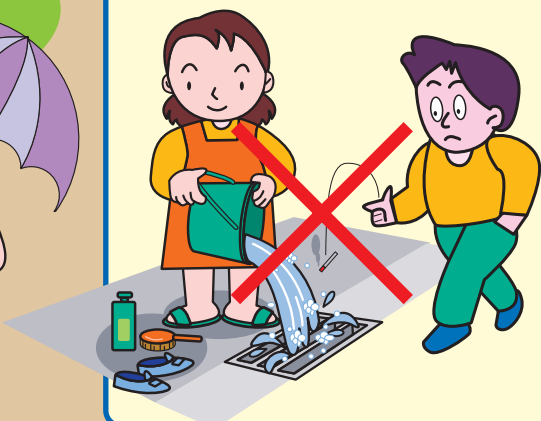
大雨が降った時



(柏尾川戸塚駅付近)

汚れた水の流し方に気をつけよう

雨水を分流式で流している地域では、道路の側溝に汚れた水を流す

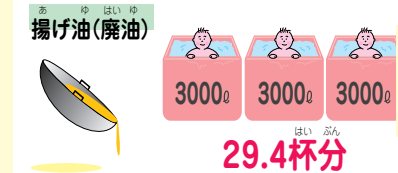
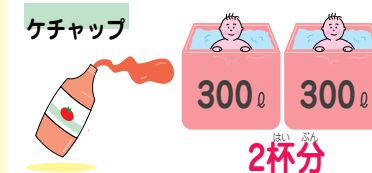
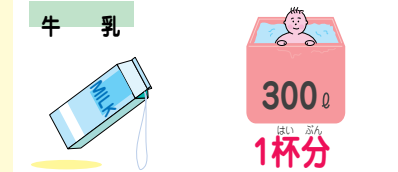


と、そのまま川や海に流れ込んでしまいます。家庭の汚水は、きちんと污水管へ流してください。汚れた水が直接川や海に流れると、そこに住んでいる生き物がどうなってしまうか分かりますよね。



一度汚した水を元にもどすって大変!

たった10mlのこれらのものが川に流れこんでしまったら...魚がすめる水質にするには300ℓの浴槽でこれだけの水が必要になります。



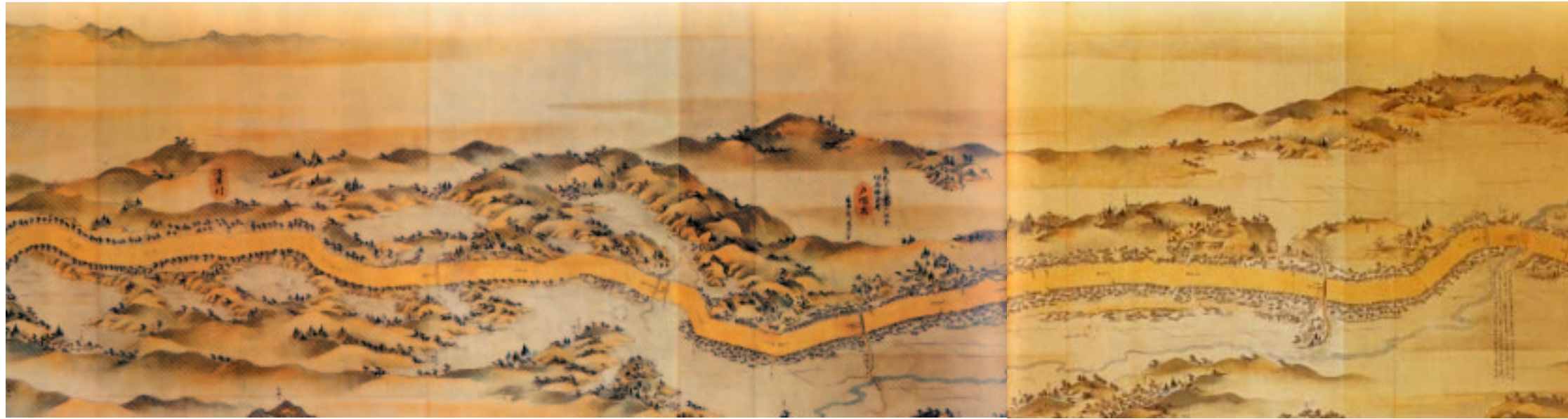
あとがき

柏尾川流域を通じて、戸塚区のことを紹介してきましたが、どう感じましたか？

この冊子をきっかけにして、川のこと、戸塚区のことにもっと興味を持ってもらえればと思います。実際にいろいろな場所に足を運んだり、いろいろなことを調べてみてほしいのです。

そして、ますます戸塚のことを好きになってもらえたら…。

そんな思いでこの冊子は作られています。あなたの戸塚区への思いを少しずつこの冊子に加えてください。



「東海道分間延絵図」より戸塚部分(東京国立博物館蔵)

柏尾川物語

編集後記

この「柏尾川物語」の編集に携わってくださった編集委員の方たちです。一年間、ご協力ありがとうございました。



桑田 謹次

ふとしたきっかけで編集に参加することができて、川の自然環境に思いがけない広がりがあることや、川を愛している人達がいろいろな関わりを持って、存在していることを知り、柏尾川をより多くの人達に大事にしていきたいと思いました。



下山田 千賀子

川辺を行くと生命力をとても感じて驚いたり癒されたり。自然は本当に色々教えてくれますね。



田村 喜美代

戸塚のことをもっと知りたくて応募しました。東海道を歩き、様々な川を歩き、森や谷戸を歩き、少しずつ愛着がわいてきました。これからも戸塚に関心を持っていきます。



西山 正導

この冊子を通じて、一人でも多くの方が自分の住む街「戸塚」、そして柏尾川に関心を持ってくれますように…。



洞口 亨

(まいおか水と緑の会)

柏尾川の川辺には、鳥・魚・昆虫などの生きものが生息しています。ぜひ彼らとの出会いを求めて川辺を歩いてみましょう。



山野 浩

自分自身、歴史や川について深く知ることができました。また、川に関わる人の話を聞き、川の自然を守る大切さを改めて学びました。これからも関心を持ち続けたいと思います。



もっともっと戸塚区を好きになってね！



参考文献

戸塚区史
戸塚の歴史 大橋俊雄 文華堂書店
図説横浜の歴史 横浜市
神奈川の東海道(上)・(下) 神奈川東海道ルネッサンス推進協議会
街道の日本史21 鎌倉・横浜と東海道 吉川弘文館
F. ペアト幕末日本写真集 横浜開港資料館
見てわかる! 戸塚のまちづくり 戸塚区役所
谷戸と暮らし2-戸塚区名瀬-横浜市歴史博物館
常設展示資料案内 横浜市歴史博物館
野の植物誌 山と溪谷社
野鳥観察図鑑 成美堂出版

写真協力 (本文中**印のついている写真)

*海野道男
*川邊 透
<http://www.kcn.ne.jp/~tkawabe/kontyu.htm>

イラスト協力

表紙イラスト: 下山田千賀子
柏尾川流域マップ: 桑田 謹次

横浜市戸塚区役所 総務部政推進課広報相談係 平成16年7月発行
〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町157-3 TEL045-866-8321~2 横浜市広報印刷物登録 第160128号 種別・分類B-QA130
デザイン: (株)ヨコハマクリエイティブセンター 印刷: 朝日オフセット印刷株式会社

